

オンライン版 戦後社会保障制度関係資料 大河内一男資料

原 本 東京大学経済学図書館所蔵

解 題 佐口 和郎（東京女子大学特任教授、東京大学名誉教授）



社会保障制度審議会の会長を務めた大河内一男・隅谷三喜男の旧蔵資料を収録するデータベース。第一弾は、大河内一男（1905～1984）の旧蔵資料で構成。戦後日本の社会保障制度を決定づけたとされる社会保障制度審議会の資料を中心に、関連する審議会や研究会の各種資料、調査・統計等を幅広く収録。戦後混乱期から国民皆保険・皆年金の実現、高齢化に向けた対応、女性の社会進出に伴う労働環境の変化など、日本の人口、経済状況、社会生活と密接に関わりながら発展した社会保障制度の実証研究を可能にする原資料群。社会保障、社会福祉はもとより、ジェンダー、経済格差、労働問題など、多様な分野に有益な資料である。

社会保障の探し方を掘り下げる魅力的な資料集

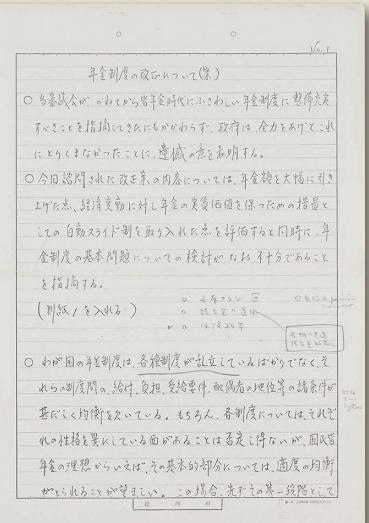
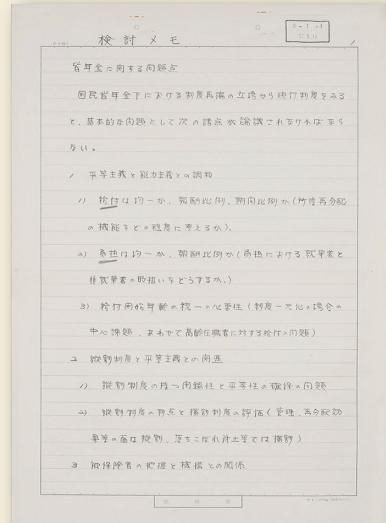
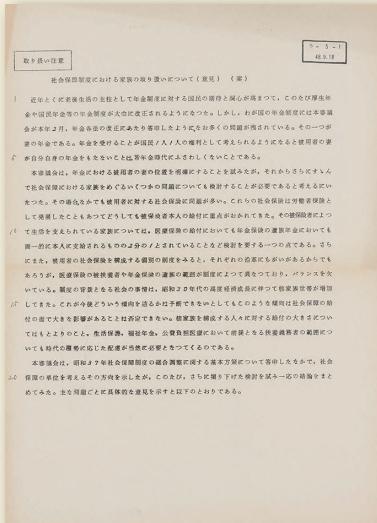
政策研究大学院大学教授 小野太一

半世紀余りの社会保障制度審議会（制度審）の歴史の中で会長を担ったのは4名に過ぎなかった（初期の短期間2名を除く）が、実質第2代、第3代の会長を担ったのが大河内一男と隅谷三喜男である。彼らが会長であったのは、福祉元年であると同時にオイルショックと狂乱物価に見舞われた1973年から、80年代中盤の健保・年金の大改正、老人保健法の成立、消費税導入、バブル経済と崩壊を経て、介護保険創設議論が相当本格化した1995年までであった。この頃制度審では、大河内の下で年金を中心に高齢化が社会保障にもたらす諸課題に労力を注ぎ、隅谷の下で第3の、そして最後の総合勧告をまとめた。総合勧告は発展を遂げた一方で、80年代には厳しい論調にも晒された社会保障の意義や価値を再確認するものであったが、同時に、大河内が逝去前に提唱したが、自身では制度審の意見に反映する機会がなかった転回後の理論を、弟子の隅谷の下で、メインメッセージである社会保障の新たな理念に取

り込んだのであった。

彼らの所蔵に係る社会保障に関する大量の資料の、戦前期からの社会保障史を研究する上の貴重さは疑うまでもない。制度審に關し一例をあげると、勧告等文書は委員自ら筆を執ることが慣習化されていたが、素案から最終案までの経過を分析する根拠となるであろう、特定委員の意見や案文の修正過程をうかがわせる資料も含まれている。それらの多くは国立公文書館保存の公式資料には期待し難いと思われるが、他にも単なるメモ書きや、大河内や隅谷の「書き込み」がある資料も多々あり、テーマを超えて彼らの当時の思考を直接伺える機会に胸が躍る。同時に、膨大なリストを前に研究者としての焦燥感とともに、先人の尽力の上に成り立つ社会保障をより良い形で次世代につなげていくためにも、これらを掘り下げ、探し方の正しい理解の下に今日の課題を論ぜねばと、研究への更なる意欲も駆り立てられる。これも、この資料集の魅力である。

年金制度



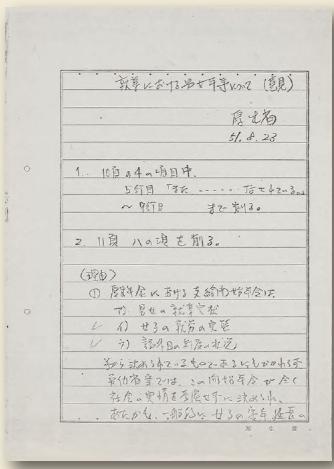
社会保障制度における家族の取り扱いについて（意見）（1973年9月）

検討メモ（年金に関する問題点）
(1977年5月)

年金制度の改正について（案）
手書きメモ

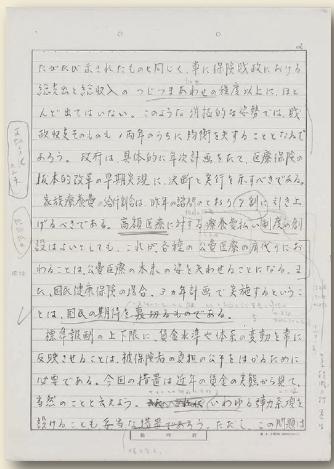
戦後日本の社会保障制度の軌跡をたどる、膨大な原資料群

女性雇用



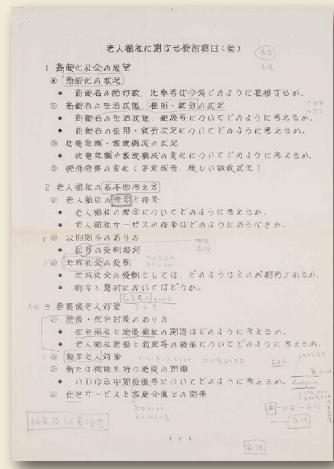
就業における男女平等について
(意見) (厚生省、1976年8月23日)

健康保険



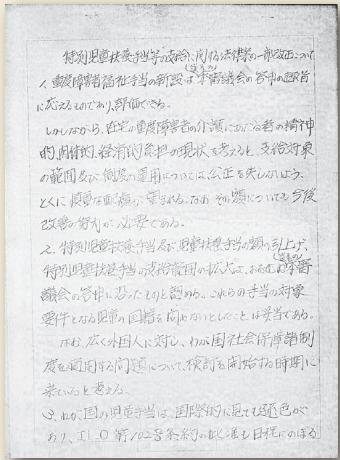
健康保険法等の一部改正について
(答申案)

高齢化社会

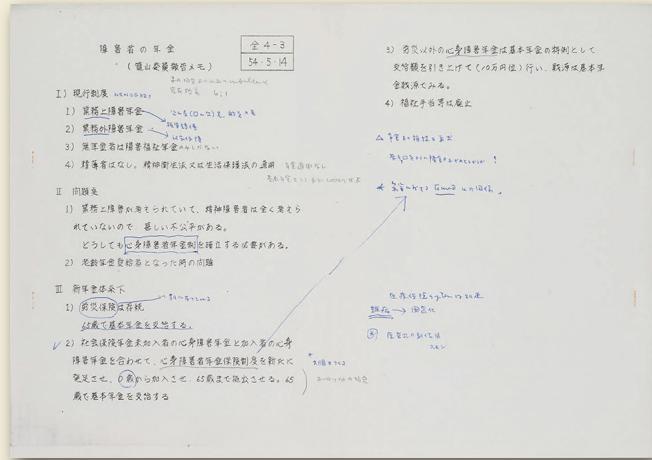


老人福祉に関する検討項目(案)
(1982年9月27日)

障害者福祉



特別児童扶養手当等の支給に関する法律案の一部改正について



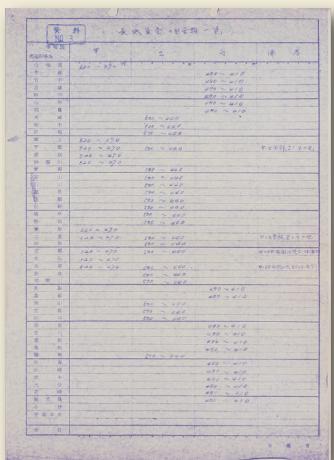
障害者の年金(篠山委員報告メモ) (1979年5月14日)

医療



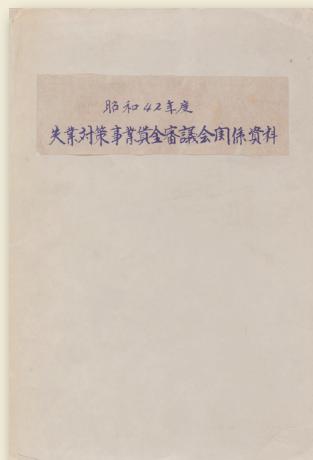
地域医療の現状及び問題点 (厚生省医務局、1974年9月9日)

最低賃金



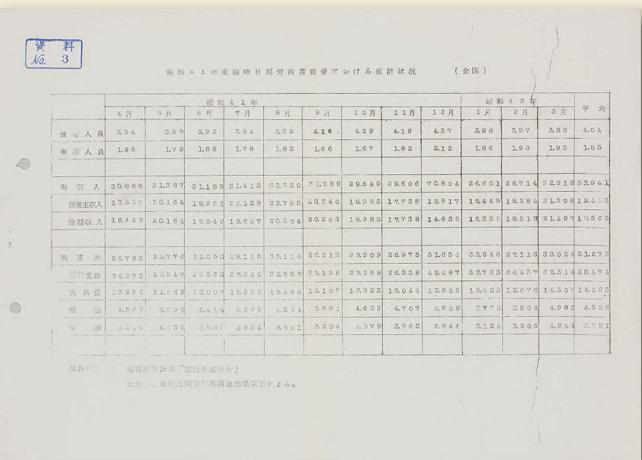
最低賃金の目安額一覧(都道府
県名/事項別)

失業対策



昭和42年度失業対策事業資金
審議会関係資料

調査・統計



昭和41年度臨時日雇労務者世帯における家計状況(全国)

オンライン版
戦後社会保障制度関係資料
大河内一男資料

原本： 東京大学経済学図書館所蔵

解題： 佐口 和郎（東京女子大学特任教授、東京大学名誉教授）

第一部 価格 ¥400,000 (税別) 第二部 価格 ¥400,000 (税別)

プラットフォーム：J-DAC ジャパン デジタル アーカイブズ センター

完全買切型（ご購入後のプラットフォーム利用料、年間維持費用は不要です）

<1ヶ月の無料トライアル受付中、お申し込みは kenkyushien@maruzen.co.jpまで>（お申込みは学術機関に限ります）

内容構成／収録審議会例

第一部 大河内一男資料 1 価格 ¥400,000 (税別)

社会保障制度審議会（1948～1975年）、社会保障長期計画懇談会、経済審議会国民生活分科会、中央職業安定審議会、中央賃金審議会、賃金研究会、失業対策事業賃金審議会、失業対策問題調査研究会、失業対策制度研究会、労使関係法研究会

第二部 大河内一男資料 2 価格 ¥400,000 (税別)

社会保障制度審議会（1976～1984年）、社会保障長期展望懇談会、社会保険審議会、国民年金審議会、年金制度基本構想懇談会、男女平等問題研究会議、中央労働基準審議会、公共企業体等閣僚協議会、産業労働懇談会

*2024年に、第三部として、大河内の後を継ぎ社会保障制度審議会会長となった隅谷三喜男の旧蔵資料をリリース予定。

*収録内容は予告なく変更の可能性がございます

近現代史料データベース

近現代史料データベースは横断検索が可能です

有沢広巳旧蔵 社会政策・エネルギー政策関係資料集

原本：東京大学経済学図書館所蔵
編集：宮崎忠恒（茨城大学准教授）

戦後の経済政策に多大な影響を与えた、有沢広巳が残した、多岐にわたる政策関係の一次史料群。第一部では、50年代から80年代までの社会政策関連の審議会資料を中心に収録、第二部では、石炭・石油・原子力など戦後のエネルギー政策関連の資料を収録。

- 第一部 社会政策関係資料 価格 ¥450,000 (税別)
- 第二部 エネルギー政策関係資料 価格 ¥450,000 (税別)

オンライン版 市川房枝資料 1905-1946

原本：公益財団法人 市川房枝記念会女性と政治センター所蔵
編集：井上直子（法政大学ほか）

戦火の中も市川房枝（1893-1981）の手によって守られ市川房枝記念会女性と政治センターに残された、戦前から終戦までの女性たちの運動とその姿を伝える、膨大な原資料のオンライン版。

- 第一部 婦人参政権獲得期成同盟会、婦選獲得同盟本部資料 価格 ¥400,000 (税別)
- 第二部 婦選獲得同盟委員会資料 価格 ¥400,000 (税別)
- 第三部 『婦選』『女性展望』資料、婦人時局研究会・婦人問題研究所資料 価格 ¥300,000 (税別)
- 第四部 一般婦人団体・組織資料、主題別資料（1） 価格 ¥300,000 (税別)
- 第五部 主題別資料（2）、市川房枝関係資料 価格 ¥400,000 (税別)

◎ MARUZEN-YUSHODO 丸善雄松堂株式会社 学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18 国際浜松町ビル TEL. 03-6367-6025 FAX. 03-6367-6188 e-mail kenkyushien@maruzen.co.jp

オンライン版

戦後社会保障制度関係資料 第三部

隅谷三喜男資料

原 本 東京大学経済学図書館所蔵
 解 題 佐口 和郎（東京女子大学特任教授、東京大学名誉教授）

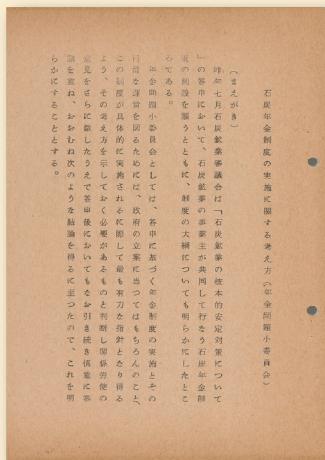


社会保障制度審議会の会長を務めた大河内一男・隅谷三喜男の旧蔵資料を収録するデータベース。第三部は、大河内の後を継ぎ社会保障制度審議会会長となった隅谷三喜男（1916～2003）の旧蔵資料を収録。1960年代から1990年代まで、戦後日本の社会保障制度を決定づけたとされる社会保障制度審議会の資料を中心に、関連する審議会や研究会の各種資料で構成されている。とりわけ隅谷が社会保障制度審議会会長を務めた80年代以降の資料が充実。

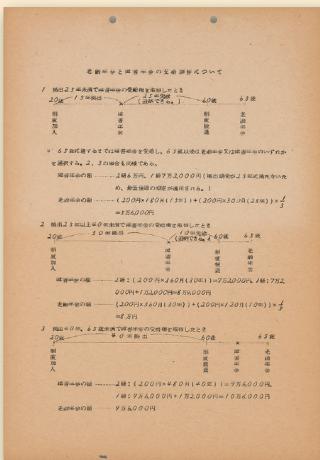
日本の人口、経済状況、社会生活と密接に関わりながら発展した社会保障制度の実証研究を可能にする原資料群。社会保障、社会福祉はもとより、ジェンダー、経済格差、労働問題など、多様な分野に有益な資料である。

1960年代から1990年代まで、多岐にわたる膨大な原資料群

年金

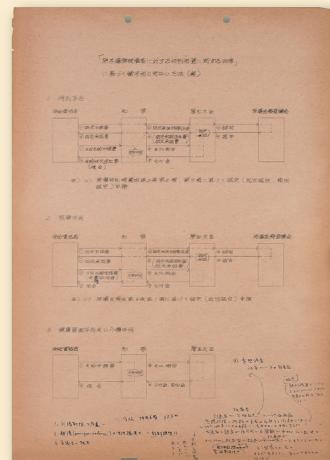


石炭年金制度の実施に関する考え方
(1967年5月8日、年金問題小委員会)



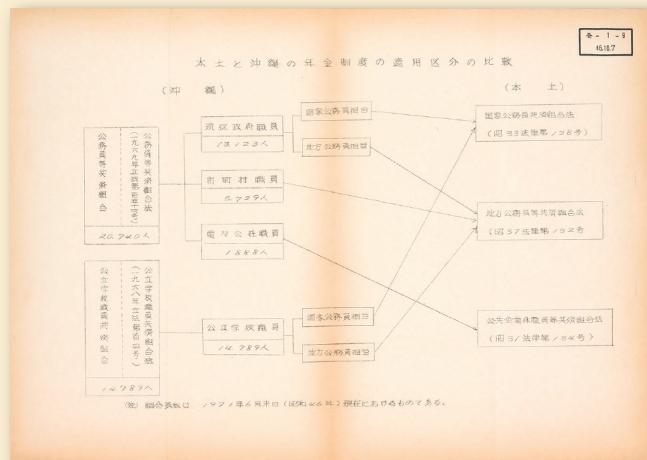
老齢年金と障害年金の支給調整について

被爆者援護



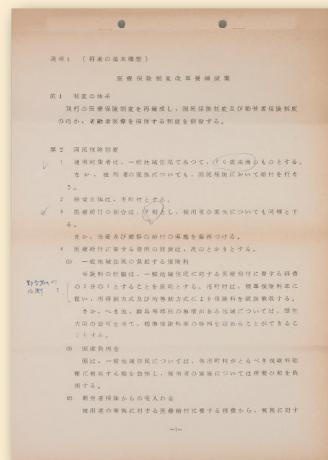
「原子爆弾被爆者に対する特別措置に関する法律」に基づく諸手当の支払い方法 (案)

沖縄

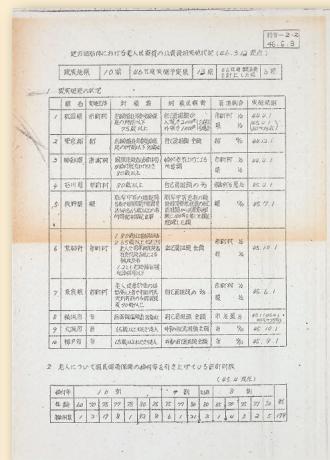


本土と沖縄の年金制度の適用区分の比較 (1971年10月7日)

医療

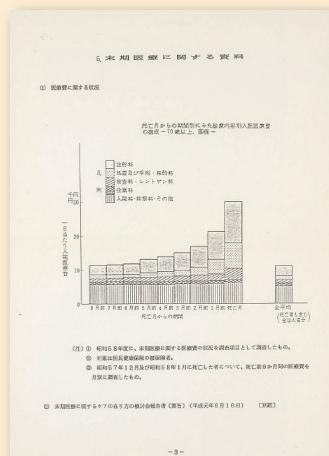


医療保険制度改革要綱試案



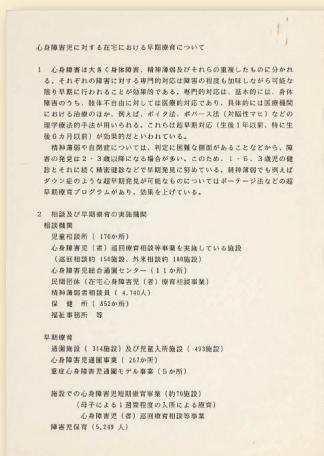
地方自治体における老人医療費の公費負担実施状況 (1971年6月3日)

高齢者

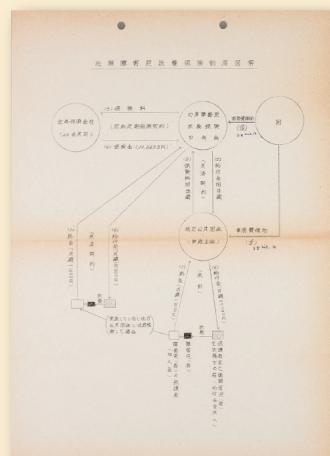


末期医療に関する資料 (1991年1月29日、厚生省老人保健福祉部)

児童福祉

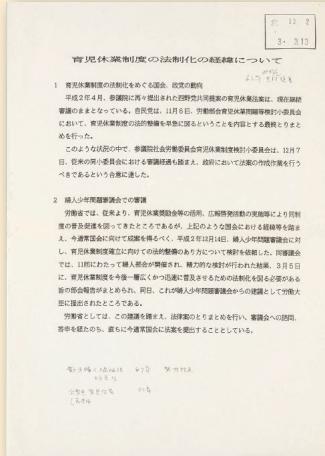


心身障害児に対する在宅における早期療育について



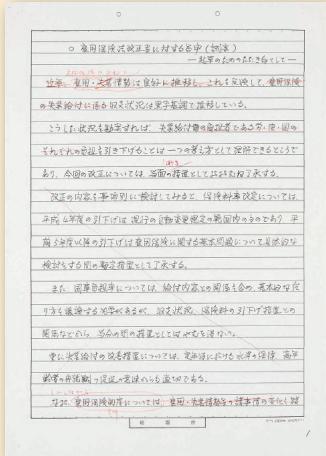
心身障害児扶養保険制度について (厚生省児童家庭局)

育児休業制度



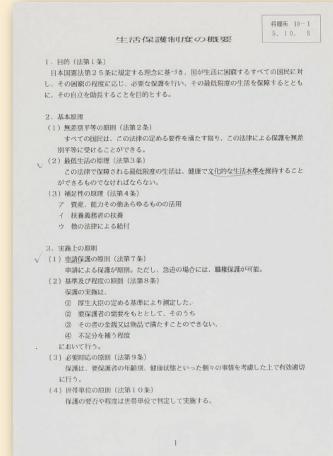
育児休業制度の法制化の経緯について（1991年3月13日）

雇用保険法改正



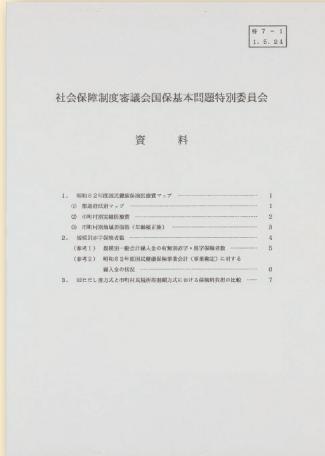
雇用保険法改正案に対する答申(試案)
一起草のためのたたき台として

生活保護



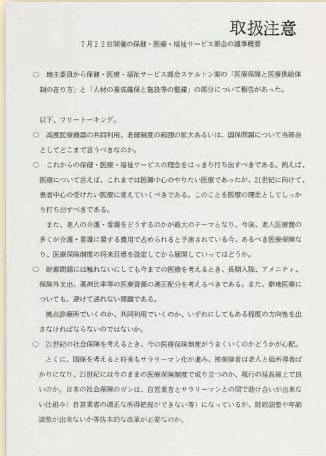
生活保護制度の概要 (1993年10月5日)

国保基本問題特別委員会



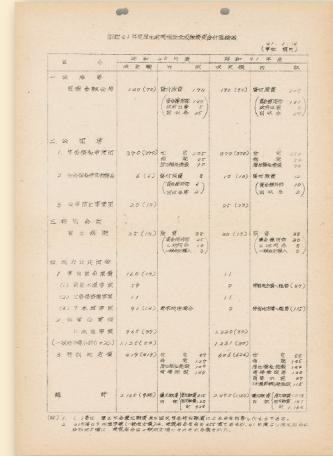
社会保障制度審議会国保基本問題特別委員会資料(1989年5月24日)

社会保障将来像委員会



7月22日開催の保健・医療・福祉サービス部会の議事概要(1993年)

予算資料



昭和41年度厚生省関係財政投融資資金計画額調(1966年1月14日)

社会保障の来し方を掘り下げる魅力的な資料集

政策研究大学院大学教授 小野太一

半世紀余りの社会保障制度審議会(制度審)の歴史の中で会長を担ったのは4名に過ぎなかった(初期の短期間2名を除く)が、実質第2代、第3代の会長を担ったのが大河内一男と隅谷三喜男である。彼らが会長であったのは、福祉元年であると同時にオイルショックと狂乱物価に見舞われた1973年から、80年代中盤の健保・年金の大改正、老人保健法の成立、消費税導入、バブル経済と崩壊を経て、介護保険創設議論が相当本格化した1995年までであった。この頃制度審では、大河内の下で年金を中心とした高齢化が社会保障にもたらす諸課題に労力を注ぎ、隅谷の下で第3の、そして最後の総合勧告をまとめた。総合勧告は発展を遂げた一方で、80年代には厳しい論調にも晒された社会保障の意義や価値を再確認するものであったが、同時に、大河内が逝去前に提唱したが、自身では制度審の意見に反映する機会がなかった転回後の理論を、弟子の隅谷の下で、メインメッセージである社会保障の新たな理念に取り込んだのであった。

彼らの所蔵に係る社会保障に関する大量の資料の、戦前期からの社会保障史を研究する上の貴重さは疑うまでもない。制度審に關し一例をあげると、勧告等文書は委員自ら筆を執ることが慣習化されていたが、素案から最終案までの経過を分析する根拠となるであろう、特定委員の意見や案文の修正過程をうかがわせる資料も含まれている。それらの多くは国立公文書館保存の公式資料には期待し難いと思われるが、他にも単なるメモ書きや、大河内や隅谷の「書き込み」がある資料も多々あり、テーマを超えて彼らの当時の思考を直接伺える機会に胸が躍る。同時に、膨大なリストを前に研究者としての焦燥感とともに、先人の尽力の上に成り立つ社会保障をより良い形で次世代につなげていくためにも、これらを掘り下げ、來し方の正しい理解の下に今日の課題を論ぜねばと、研究への更なる意欲も駆り立てられる。これも、この資料集の魅力である。

オンライン版

戦後社会保障制度関係資料 第三部 隅谷三喜男資料

原本： 東京大学経済学図書館所蔵
解題： 佐口 和郎（東京女子大学特任教授、東京大学名誉教授）

価格 ￥400,000（税別）

プラットフォーム：J-DAC ジャパン デジタル アーカイブズ センター
完全買切型（ご購入後のプラットフォーム利用料、年間維持費用は不要です）

<1ヶ月の無料トライアル受付中、お申し込みは kenkyushien@maruzen.co.jpまで>（お申込みは学術機関に限ります）

戦後社会保障制度関係資料 第一部・第二部 好評発売中

第一部 大河内一男資料 1 価格 ￥400,000（税別）

社会保障制度審議会（1）、社会保障長期計画懇談会、経済審議会、中央職業安定審議会、中央賃金審議会、賃金研究会、失業対策事業賃金審議会、失業対策問題調査研究会、失業対策制度調査研究会、労使関係法研究会

第二部 大河内一男資料 2 価格 ￥400,000（税別）

社会保障制度審議会（2）、社会保障長期展望懇談会、社会保険審議会、国民年金審議会、年金制度基本構想懇談会、男女平等問題研究会議、中央労働基準審議会、公共企業体等関係閣僚協議会、産業労働懇話会

近現代史料データベース

近現代史料データベースは横断検索が可能です

有沢広巳旧蔵 社会政策・エネルギー政策関係資料集

原本：東京大学経済学図書館所蔵
編集：宮崎忠恒（茨城大学准教授）

戦後の経済政策に多大な影響を与えた、有沢広巳が残した、多岐にわたる政策関係の一次史料群。第一部では、50年代から80年代までの社会政策関連の審議会資料を中心に収録、第二部では、石炭・石油・原子力など戦後のエネルギー政策関連の資料を収録。

● 第一部 社会政策関係資料 価格 ￥450,000（税別）

● 第二部 エネルギー政策関係資料 価格 ￥450,000（税別）

オンライン版 市川房枝資料 1905-1946

原本：公益財団法人 市川房枝記念会女性と政治センター所蔵
編集：井上直子（法政大学ほか）

戦火の中も市川房枝（1893-1981）の手によって守られ市川房枝記念会女性と政治センターに残された、戦前から終戦までの女性たちの運動とその姿を伝える、膨大な原資料のオンライン版。

● 第一部 婦人参政権獲得期成同盟会、婦選獲得同盟本部資料 価格 ￥400,000（税別）

● 第二部 婦選獲得同盟委員会資料 価格 ￥400,000（税別）

● 第三部 『婦選』『女性展望』資料、婦人時局研究会・婦人問題研究所資料 価格 ￥300,000（税別）

● 第四部 一般婦人団体・組織資料、主題別資料（1） 価格 ￥300,000（税別）

● 第五部 主題別資料（2）、市川房枝関係資料 価格 ￥400,000（税別）